スLOg 令和Edition V2.9.3.1

RELEASE NOTE

2025/02/12 JR8PPG

フィードバック時のお願い (ML参加者向け)

- ・ 不具合は再現手順を具体的に連絡して下さい。
- ・改善要望は具体的に「こう言う文言ならわかりやすい」とか「ここがこう言う操作なら使い勝手が良い」と案を出してもらえると助かります。
- フィードバックはzlog-reiwa@cq-test.netへ

zLog令和Edition 2.9.3.x

バージョン 2.9.2.8からの修正内容です。

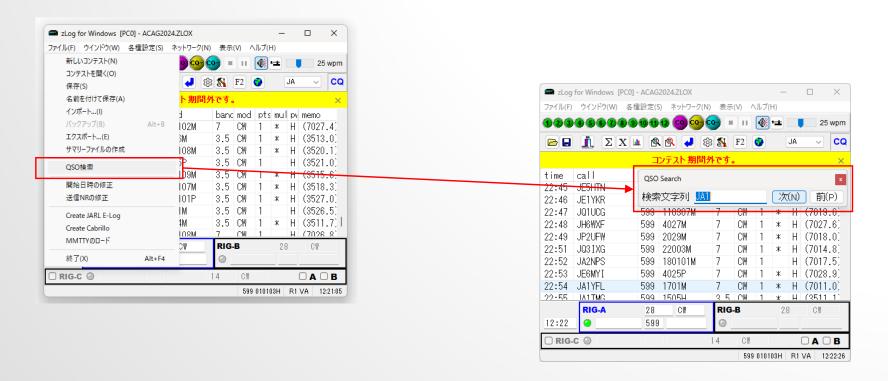
※前回から変更のあったページはUPDATEの表記があります

バージョン2.9.3.Xでの主な変更点

- > Enterキーモードの追加
- > OTRSP対応
- > CW Keyboardの送信進捗表示
- > バンドスコープの改良
- ➤ F2A対応機能の改良(サウンドデバイスをリグ毎に設定)
- > ハムサポとのデータ連係
- ➤ RBN連携
- > 不具合修正

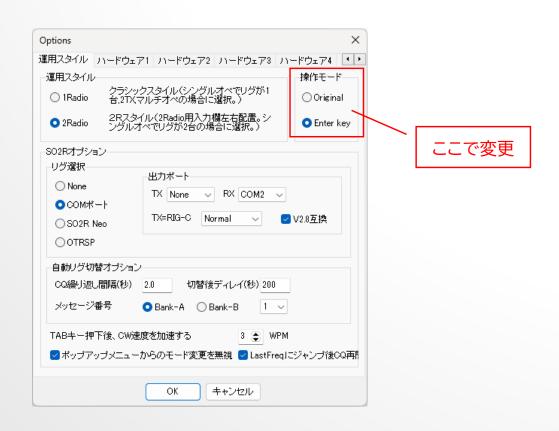
#519 検索機能の追加

- ▶交信リストをコールサイン, 受信NR, memo欄を検索し、マッチしたQSOをハイライトします。
- ▶「次」ボタンで次々と検索します。



#608 Enterキーモードの追加(1)

- ➤ Enterキーで操作を行う、いわゆるESMモードです。
- > Enterキーモードでも従来操作は可能です。



#608 Enterキーモードの追加(2)

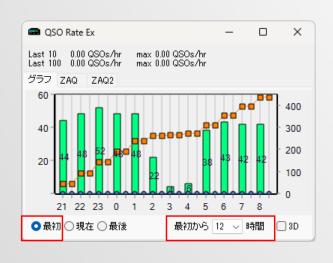
>フォーカス位置と入力の有無によってEnterキー押下時の動作が異なります。

CQ/S&P	フォーカス位置	入力有無	Enterキー押下時の動作	備考
CQ	コールサイン	なし	F1(CQ)送信	
		あり	F2(\$C 5NN\$X)送信後、NR入力へ	TABキーと同じ
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F3(TU \$M TEST)送信とロギング	↓キーと同じ
S&P	コールサイン	なし	F7(MY CALL)送信	
		あり	F7(MY CALL)送信	DUPE時は何もしない
	ナンバー	なし	F5(NR?)送信	
		あり	F8(5NN\$X)送信とロギング	

BUG FIX

#631 QSORateグラフの「最後からnn時間」表記の改善

▶グラフの表示が「最初」「現在」「最後」のいずれでも「最後からnn時間」ではおかしいので修正しました。







UPDATE

#632 RBN連携機能(1)(2.9.3.1)

RIG-A

■ 手前に表示 列数

OK

> SuperCheck/N+1において、受信したRBNのコールサインは QRVがあった局として別の表示をします。

JA1C 22:22 599 599 RIG-C Unknow Other \Box A \Box B 599 599 106H R1 VA 22:22:03 Super Check ■ N+1 JA1CAU JA1CP JA1CT JA1CCA JA1CJP N+1にて相違箇所に下 JA1COU 1317M 線表示を追加

-1.⊜

OK

CW

3.5

RIG-B

■ 手前に表示 列数

3.5

1.⊜

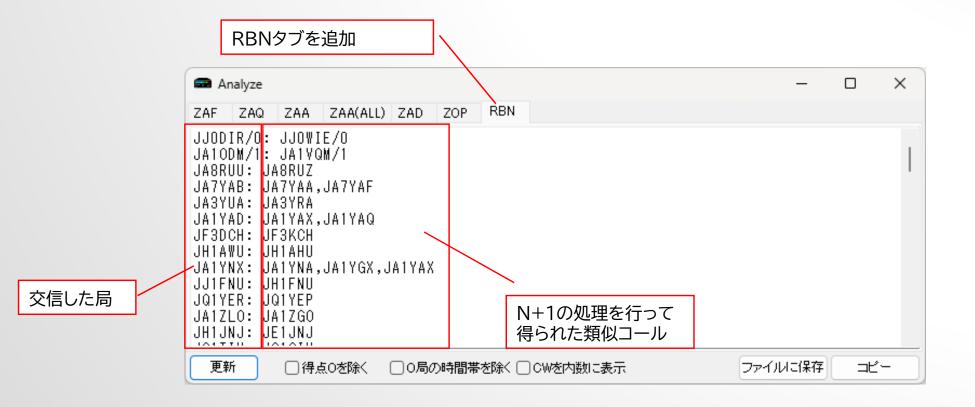
CW

太字はRBNにレポートが あったコール(QRVが確 認されている)



#632 RBN連携機能(2)(2.9.3.1)

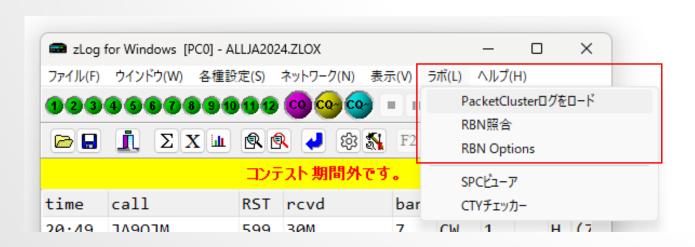
➤ 分析機能で交信局を受信したRBNのコールサインとN+1の処理を 行い、照合結果リストを出力します。





#632 RBN連携機能 (3) (2.9.3.1)

- ▶後でRBN情報としてPacketClusterログをロードできます。
- ▶一括でRBN情報と(再)照合できます。

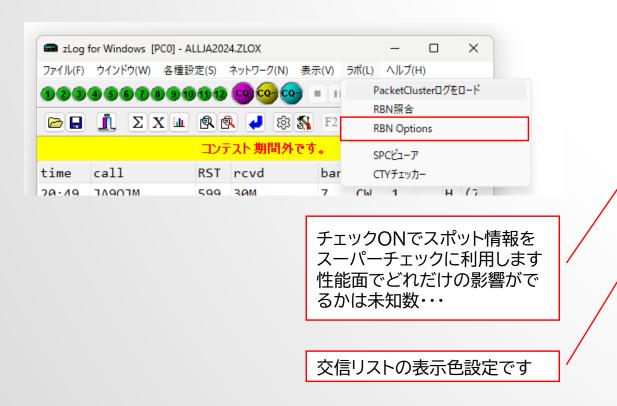




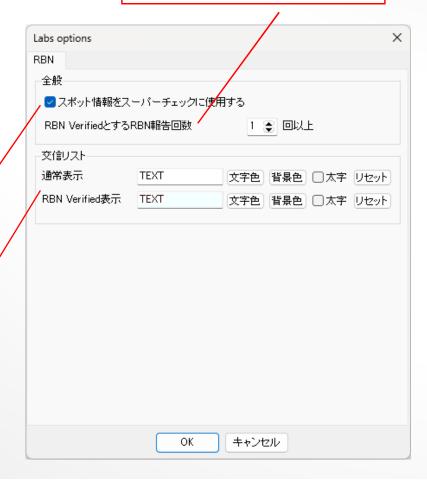
UPDATE

#632 RBN連携機能(4)(2.9.3.1)

トRBN連携機能の設定画面です。



RBN照合OKとする、報告回数です。これは複数回数の報告を持ってQRVがあったとするため、2回以上がおすすめです



UPDATE

#632 RBN連携機能(5)(2.9.3.1)

> 交信リストの表示色を変更可能としました。

背景が水色はRBN照合OKの 交信です(例)

🗪 zLog f	for Windows [PC0] - A	LLJA202	4.ZLOX			_			×			
ファイル(<u>F</u>)	ウインドウ(<u>W</u>) 各種設	定(<u>S</u>)	ネットワーク(<u>N</u>)	表示(<u>V</u>)	ラボ(<u>L</u>)	ヘルプ(<u>H</u>)					
123	4667890	000	CO CO CO	= 11	₩ *•	1		25	wpm			
	ΣX	R (5		F2	0	JA		~	SP			
コンテスト 期間外です。 ×												
time	call	RST	rcvd	band	d mod	pts	mul ¹	рw	m∈			
20:49	ЈА9ОЈМ	599	30M	7	CW	1		Н	(7			
20:50	JI3CJP/3	599	23M	7	CW	1		Н	(7			
20:53	JA2KVB	599	18M	3.5	CW	1		Н	(3			
20:54	JI4WHS	599	35M	3.5	CW	1		Н	(3			
20:56	JM6CIP	599	45M	3.5	CW	1	45	Н	(Ξ			
20:57	JA0IOF	599	09H	3.5	CW	1		Н	(3			
20:58	JK1FNL	599	11H	3.5	CW	1		Н	(3			
20:59	JG1CFO	599	12M	3.5	CW	1		Н	(3			
	RIG-A	3.5	CW	RIG-B		3.5	C	W				
22:39	JA1C	599		@ <u></u>		599						
☑ RIG-0	0	599	Un	knov Ot	her				В			
					99 106H	l R1	I VA	22	39:30			





#632 RBN連携機能(6)(2.9.3.1)

> QSOEditウインドウにも項目を追加しました。



UPDATE

#632 RBN連携機能(7)(2.9.3.1)

> zLog CSVにてRBN照合フラグも出力します。

AA	AB	AC	AD	AE	AF	AG	АН	A]		
Freq	QsyViolatio	PCName	Forced	QslState	Invalid	Area	RBN Verifie	ed		
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	1	FALSE			
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	0	FALSE			
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	1	FALSE			
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	2	FALSE			
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	6	FALSE			
7113	FALSE	pc1	TRUE	1	TRUE	6	FALSE		N1.) ('C'	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	8	FALSE		N Verified	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	2	FALSE	TR	UE:RBN照合OK	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	0	FALSE	FA	LSE:RBN照合NG	
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	1	FALSE			
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	7	FALSE			
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	3	TRUE			
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	6	FALSE			
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	8	FALSE			
7113	FALSE	pc1	FALSE	0	FALSE	1	FALSE			

#634 1Radio時での使用可能リグ台数の拡大

- ▶1Radio時でも4台のリグを設定可能としました。
- ➤ SHIFT+X押下時はRIG-1~RIG-4を順次切り替えます。
- ▶アンテナ端子の切り替え機能はRIG-1/RIG-2のみ作動します。

#648 CW Keyboardでも送信の進捗をしりたい

- >送信に合わせて背景に色が付くようにしました。
- ▶サイドトーンが聞こえないリモート運用等で有効とのことです。
- >全部送信した後は、画面で設定の時間経過後クリアされます。

送信に合わせて色が付く



この時間経過後画面クリア

#656 OTRSP対応(1)

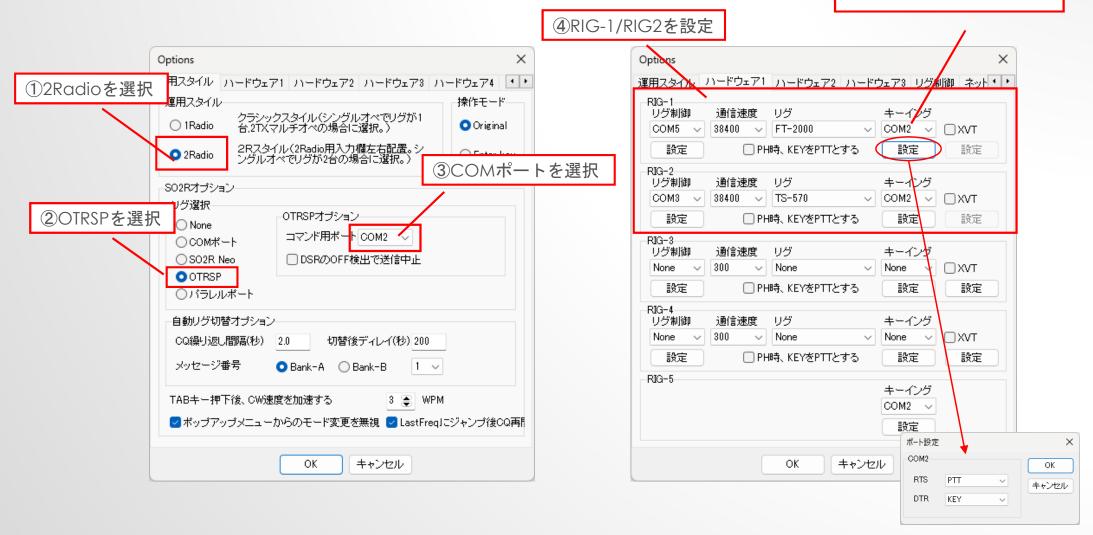
- ▶ 標準とされるSO2Rの切替BOX仕様に対応しました。
 Open Two Radio Switching Protocol (OTRSP)
 https://www.k1xm.org/OTRSP/OTRSP
 Protocol.pdf
- ➤ 実装コマンドはTX,RX,AUXです。
- ▶ 送信RIG切替時は、TX1<CR> または TX2<CR> が送出されます。
- ➤ 受信RIG切替時は、RX1<CR> または RX2<CR> が送出されます。
- ▶ バンド切替時は設定に従って、AUXコマンドが送出されます。(N1MMと同じ)

は使えると思い

- · 書式: ANT<RIGNO><ANTNO><CR>
- RIGNOは1桁、ANTNOは2桁、<CR>は0x0D
- ・ ANT未指定時・・・AUX100 < CR > 又は AUX200 < CR >
- ・ ANT1指定時・・・AUX101<CR> 又は AUX201<CR>
- ▶ 通信条件:9600bps,ストップビット1,パリティ無し,フロー制御無し (RTS/CTSはOFF固定) CW(RTS/DTR)重畳可

#656 OTRSP対応(2)

⑤CWキーイングは任意の ポートから選択(OTRSPコ マンド用ポートと同じでも 良い)



#656 OTRSP対応(3)



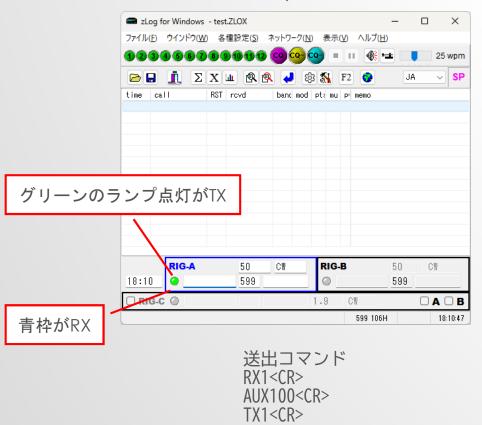
⑥AUXコマンドはここのアンテナ設定に 従って送出されます。 例) RIG-AのANT1は、AUX101 RIG-AのANT3は、AUX103 RIG-BのNoneは、AUX200

RIG-BのANT1は、AUX201

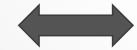
JGOLGQ北沢OMが制作中の SO2R切替BOXに対応します。

#656 OTRSP対応(4)

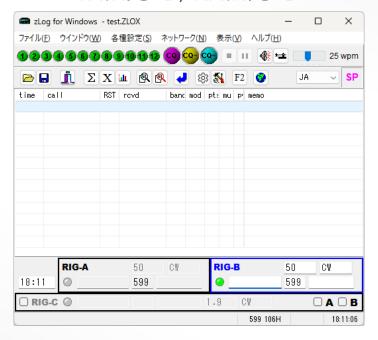




TX/RX切替 SHIFT+X

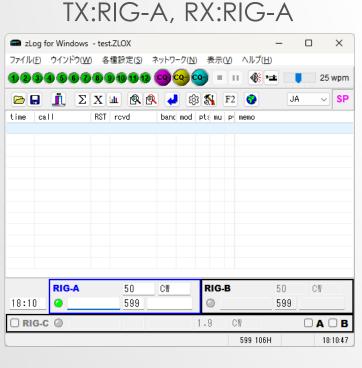


TX:RIG-B, RX:RIG-B



送出コマンド RX2<CR> AUX200<CR> TX2<CR>

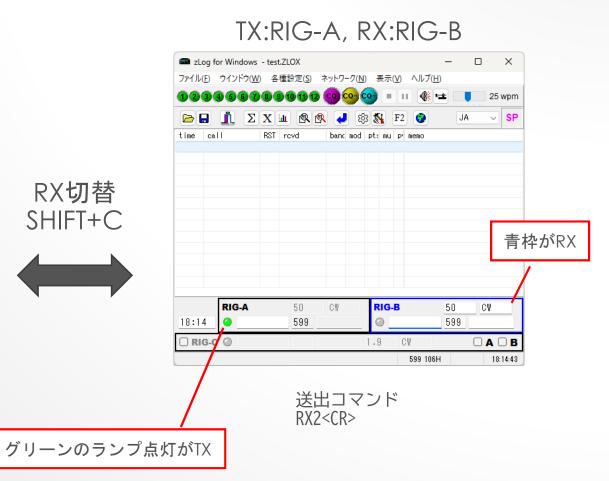
#656 OTRSP対応(5)



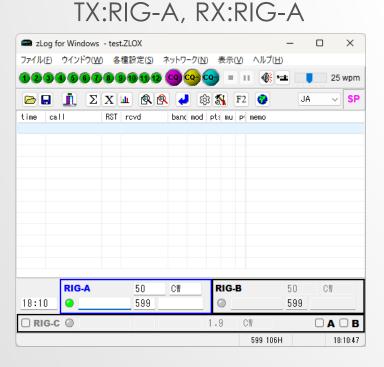
RX切替

SHIFT+C

送出コマンド RX1<CR>

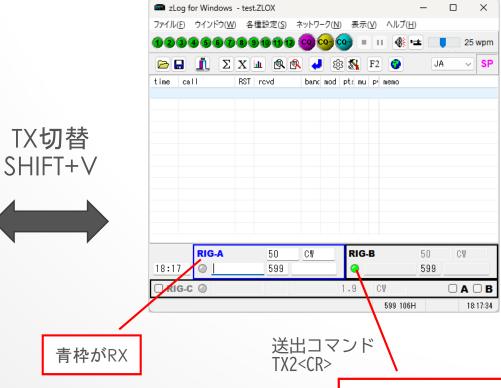


#656 OTRSP対応(6)



送出コマンド TX1<CR>

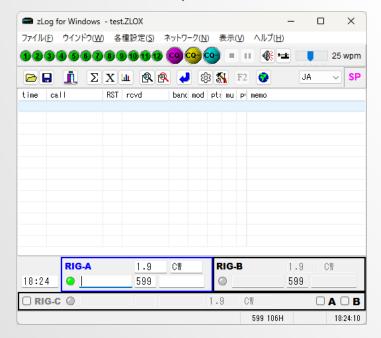




グリーンのランプ点灯がTX

#656 OTRSP対応(7)

TX:RIG-A, RX:RIG-A

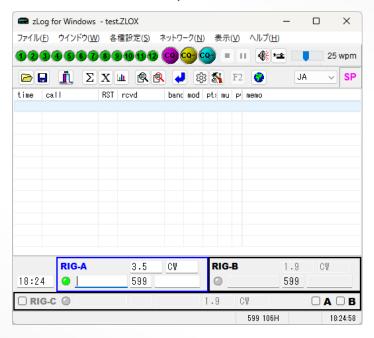


送出コマンド RX1<CR> AUX101<CR> TX1<CR>

バンド切替 SHIFT+B



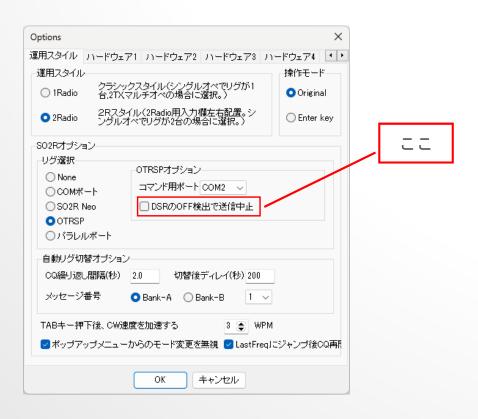
TX:RIG-B, RX:RIG-A



送出コマンド RX1<CR> AUX102<CR> TX1<CR>

#656 OTRSP対応(8)

- ▶リグ側でバンド切替を行った場合、AUXコマンドを送出します。
- ➤ COMポートキーイング時、DSR信号がOFFでキーイングを停止 するオプションを追加しました。



#659 マルチTXの拡張

➤ マルチTXのTX番号が0-9で10TXでした。これでは足りないため、 0-15の16TXまでに拡張しました。

#678 シリアル番号の発番管理方法の改善

- > シリアルNO方式コンテストについて発番方法の改善。
- ▶ 主にPHONE時に、zLogが発番する番号と違う番号を誤って送った場合に番号に食い違いがおきる。

▶現在

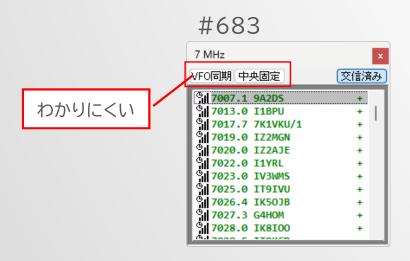
➤ 番号管理用の変数を使って、管理番号 + 1を次のQSOのシリアルナンバーとしているが、ZLOファイルロード時(次回起動時)は最終QSOのシリアルナンバー + 1としている。

▶改善

▶ 常に最終QSOのシリアルナンバー+1を次のQSOのシリアルナンバーとした。

#683 #717 バンドスコープの改良(1)

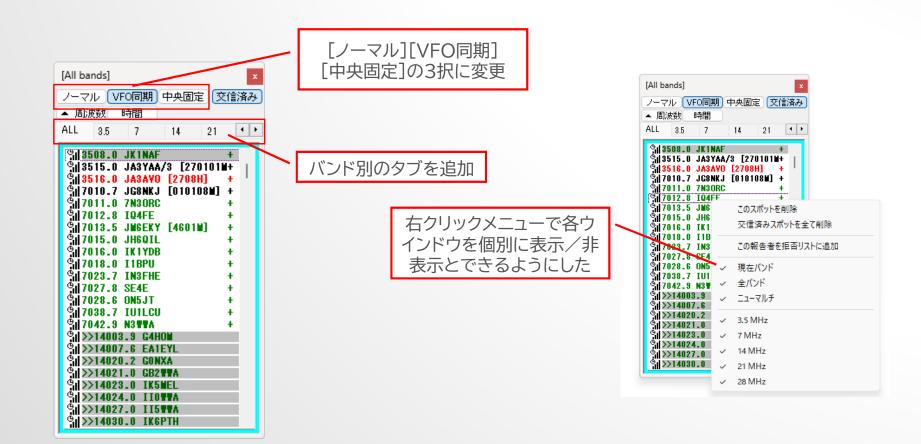
- » #683 バンドスコープの[VFO同期][中央固定]がわかりにくいというご指摘。
- ▶ #717 All bandsのウインドウでは全バンドのスポットが出ているので、現在バンドは良いが他のバンドを見るのが大変とのご指摘。





#683 #717 バンドスコープの改良(2)

▶ [ノーマル]・・・VFO非連動 [VFO同期]・・・VFOに合わせてスクロール [中央固定]・・・VFO位置をウインドウの中央に固定して表示



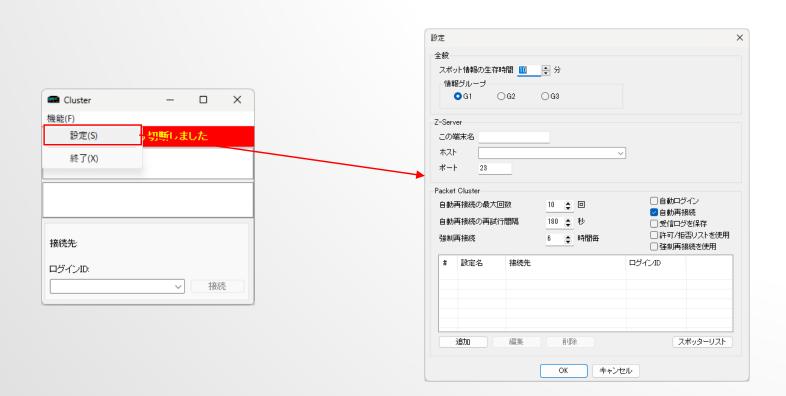
#683 #717 バンドスコープの改良(3)

▶ 従来操作との対比は下記の通りです。

動作		改良後の操作	改良前の操作			
	[ノーマル]	[VFO同期]	[中央固定]	[VFO同期]	[中央固定]	
ノーマル表示 VFOの動きには連動しない	ON	OFF	OFF	OFF	OFF	
VFO同期表示 VFOに合わせてスクロール	OFF	ON	OFF	ON	OFF	
中央固定表示 VFO位置をウインドウの中 央に固定して表示	OFF	OFF	ON	ON	ON	

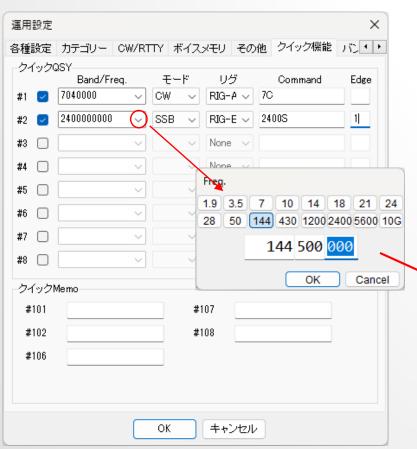
#690 ZLOG TELNETも登録リストから選択できるようにしてほしい

> zLog本体と同様の設定を追加しました。



#699 クイックQSYとコンソールコマンドQSYの統合

▶類似機能となるクイックQSYと#672でのコンソールコマンドQSYを 統合しました。#672の説明を次ページに掲載。



- ・QSY先の設定を画面で行えるようにした
- ・元のクイックQSY機能によりショートカットキーも 使用可能
- ・周波数入力を簡便にするために補助ウインドウを 作ってみた

周波数入力ウインドウ

~参考~

#672 コンソールコマンドでの周波数プリセットへのQSY(2.9.2.2)

- ▶ 予めプリセットしておいた周波数・モードへコンソールコマンドでQSYします。
- ➤ IC-705/905/9700ではFIXエッジの選択が可能です。(2.9.2.2)

予めコマンドと周波数・バンドを設定したファイル zlog_freqmem.txt

コマンド, 周波数, モード, FIXエッジ 50S, 50350000, SSB 50C, 50050000, CW 144S, 144250000, SSB 144C, 144050000, CW 430S, 432500000, SSB, 1 430C, 430050000, CW, 2

コールサイン欄に、".50C"と入力すると 50.050kHz CWへQSYします。

IC-705/905/9700の場合は、予め登録してあるスペクトラムスコープのFIXエッジ(上限/下限周波数)を選択できます。 FIXエッジは各機種とも各バンド4パターン登録できます。上記ファイルの4項目目に番号を記述することで、 QSY時にFIXエッジ選択コマンドをリグに送出します。(項目無し又は0の場合は送出しません) これはモードによって占有周波数が異なるためスペクトラムスコープの表示幅を変更したいという要望に対応するものです。



#700 スペースキー押下時の動作改善(2.9.3.1)

> 現状

- ① コールサイン入力
- ② スペースキー押下(又はタブキー)
- ③ 過去QSO(他バンドのQSO)があればNRを転記
- ④ コール欄に戻り訂正
- ⑤ スペースキー押下(又はタブキー)
- ⑥ すでにNR欄には何か入力済みなので、過去QSO(他バンドのQSO)からのNR転記をしない

> 改善

- ▶ 上記の⑥で、訂正したコールサインに過去QSO(他バンドのQSO)があればNRを転記するように した
- ▶ MLにて指摘のあった不具合を修正しました。(2.9.3.1)

#703 ハムサポとのデータ連携 (1)

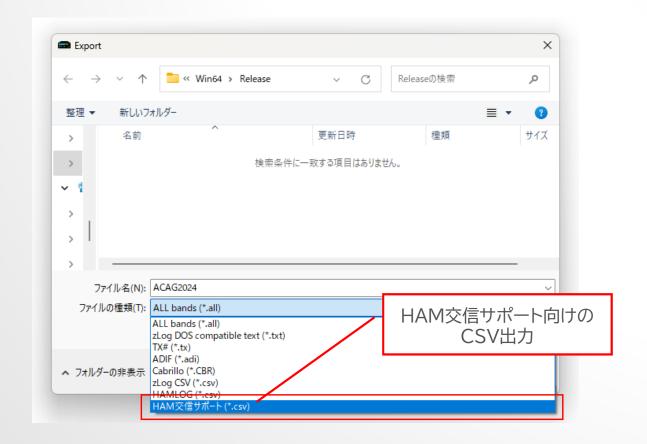
➤ iPhoneアプリの「HAM交信サポート」との相互のデータ交換を可能 としました。

https://apps.apple.com/jp/app/ham%E4%BA%A4%E4%BF%A1%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88/id6645736263



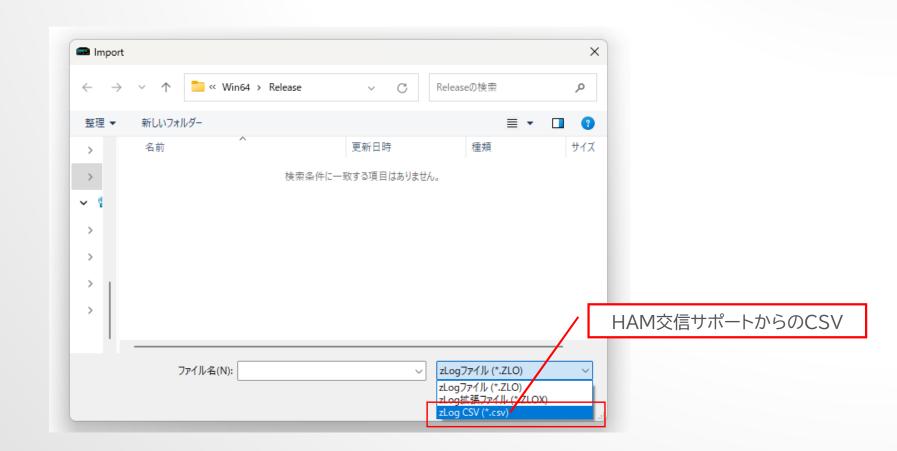
#703 ハムサポとのデータ連携(2)

> zLogからHAM交信サポートへ交信データを移行するには、「エクスポート」メニューより 「HAM交信サポート(*.csv)」を選択して下さい。



#703 ハムサポとのデータ連携 (3)

▶ HAM交信サポートからzLogへ交信データを移行するには、「インポート」メニューより「zLog CSV (*.csv)」を選択して下さい。

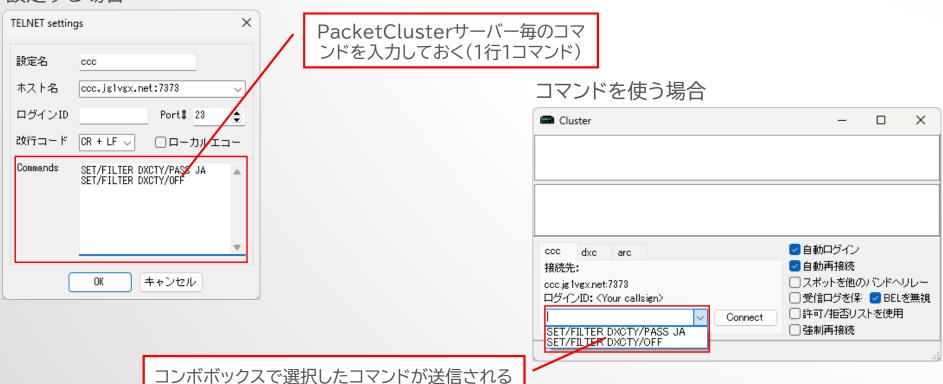


#709

Packet Cluster接続:接続先毎にコマンドを登録

>接続先毎にコマンドを予め設定できるようにしました。

設定する場合



BUG FIX

#725 CTRL+Nでバンドスコープに登録時、NEWマルチチェックが正しくない

→ 現象 ARRL 10mの場合、CTRL+Nでバンドスコープに登録時、交信済みマルチなの にNEWマルチとして赤く表示される。

▶原因

ARRL 10mでの北米局のNRはSTATEなのでコールサインからNEW MULTI チェックができない。

そのため、その局がWORKEDかどうかのチェックしかできない。 しかもSPOT情報に正しいモード情報が無いので、常にCWとしてチェックされる。 SSBでは正しくWORKEDチェックが行えない。

> 対応

ARRL 10mの場合、バンドスコープでNEW MULTIチェックは行わない。またモード無視でのWORKEDチェックとする。

#726 最後のシリアルNOを送りたい

- ▶ シリアルNOコンテストで、ロギング後にAGN?等を送られた場合、最後のシリアルNO(ひとつ前のQSO)を再送したい。
- ▶ CWの置換マクロとして\$U(\$u)を実装しました。 例えば、F9等に「5NN\$U TU」と登録しておくことで、F9キー押下 で対応が可能となります。

#728

SO2R: V2.8のリグ切り替え信号にRX=RIG-A+RIG-Bを追加

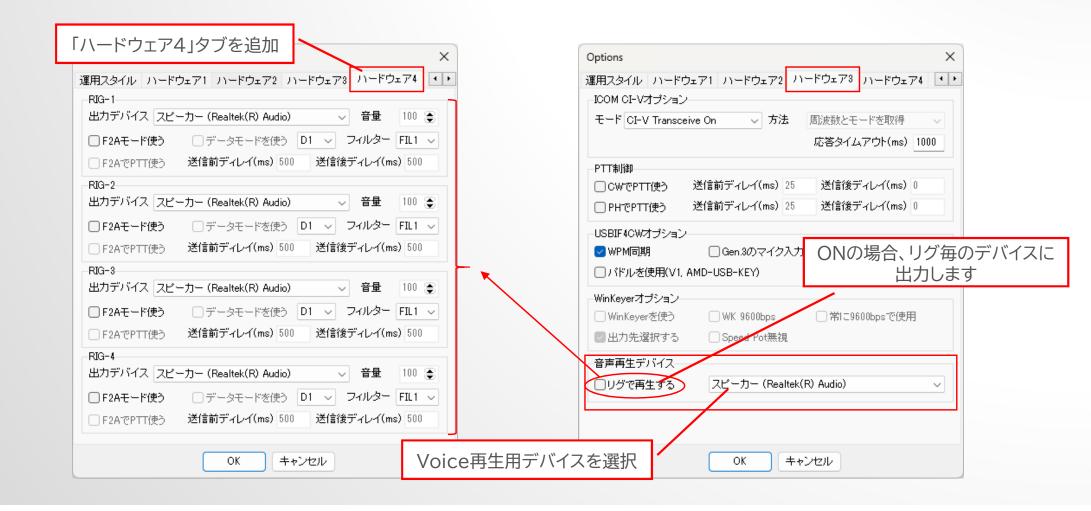
- ▶ V2.8のリグ切り替え信号利用時、ショートカットキー#137の操作を行うと、 DTR:ON/RTS:ONとするオプションを追加する。 解除はショートカットキー#135と#136と#147の操作とする。
- ▶ 使用用途は接続するSO2R切替BOXにて、DTR:ON/RTS:ONとした場合、 RIG-AとRIG-Bの両方の受信音をヘッドホンに入力する。

#729 サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした(1)

- ➤ Voice再生/F2A時、現在選択中のリグに合わせてサウンドデバイスを選択できるようにする。
- ▶ これにより、USB接続時にオーディオデバイスが用意されるリグを複数台接続した場合に、リグ切替に合わせてVoice/F2A送信を行うことができます。

#729 サウンドデバイスをリグ毎に設定可能とした(2)

▶ ハードウェア設定の「ハードウェア3」「ハードウェア4」タブで設定します。



#731 パラレルポート対応

- > SO2R制御BOX用にパラレルポートに対応してみます。
- → 昔ながらのプリンターポート(セントロニクス)が付いた P C は皆無なので、 秋月電子のFT245RL USB-パラレル変換モジュールに対応します。 https://akizukidenshi.com/catalog/g/g101799/
- ▶ 予定のピンアサインは下記の通りです。 CWとPTTは実装済み。TXnとRXnは仕様調整中です。

D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7
CW	PTT	TXO	TX1	RXO	RX1	RX2	AF BLEND

> この様に使いたいという希望があれば連絡下さい。

BUG FIX

その他不具合修正一覧